

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第3委員会室 担当職員 池永
日 時	平成30年8月23日(木曜日)	開 議	午後 1 時 45 分
		閉 議	午後 2 時 38 分
出席委員	◎西口、○石野、奥村、並河、藤本、木曾、明田、(湊議長)		
出席理事者			
出席事務局	片岡事務局長、池永主任		
傍聴者	市民1名	報道関係者0名	議員0名

## 会 議 の 概 要

1 3 : 4 5

### 1 開会 (西口委員長あいさつ)

(事務局説明)

<事務局主任>

本日は、前回配付資料を踏まえ、対象事業の決定を行っていただきたい。なお、対象事業数は、3項目程度を目途にお願いしたい。

### 2 事務事業評価対象事業の選定

<西口委員長>

それでは、これより対象事業の決定を行う。各委員が事前に抽出した内容の資料を配付した。資料に基づき、各委員から抽出した事業とその理由、論点などを報告願う。まず私は「農業担い手づくり育成事業経費」を抽出した。この経費の中で金額が上がっている分があるということで、対象としてはどうかと考えた。同じ項目を選んだ並河委員の意見は。

<並河委員>

京都府下でも穀倉地帯と言われるが、農業の後継者がどんどん減少している中、若手の人が支援を受けながら入っている。継続を含め、そのようなことに力を入れてほしいと考え抽出した。

<西口委員長>

「畜産振興関係経費」は3人が提案している。それぞれ理由の説明を。

<藤本委員>

次年度当初予算が667万8千円で、平成29年度当初予算より約500万円増えている。安全・安心な畜産物の生産に努めながら畜産振興を図るとしているが、取組み支援が十分効果を発揮しているのか。また、ふるさと納税の返礼品として亀岡牛は非常に人気があるが、供給・生産体制が十分に取れているのかを聞きたい。

<明田委員>

亀岡牛は生産者の努力に負うところが大きい。今日まで飼育され、そこそこのネームバリューができてきているが、病気の発生等、何が起こるか分からない世の中で

ある。亀岡市としてそのあたりの対策はどうか。国・府の施策もあるが、亀岡の牛として売るのであれば、亀岡市としてもそれなりの対策を取る必要がある。亀岡牛を亀岡の売りにするためには、さらに力を入れなければならないと考え抽出した。

<西口委員長>

亀岡牛は、ふるさと納税において品不足となっている状況がある。これを継続していくためには、畜産農業の振興に、さらに力を入れねばならないと考えて私も抽出した。

<石野副委員長>

私は「鳥獣対策事業経費」を抽出した、毎年同じような形で計上されて執行されているが、持続可能な体制づくりが重要である。猟友会では、加入者が減り高齢化している。有害鳥獣対策をしなくても済むような形になればと考える。「商工業振興対策経費」は、昨年も対象としていたが、幅が広く項目も多い。毎年同じような形だが、確実に効果が上がったもの等を把握し、見直しをしていく必要がある。

<西口委員長>

商工業振興対策経費は範囲が非常に広いので、絞り込みを含めて検討が必要である。

<奥村委員>

「バス交通関連経費」について、現状をもう少し把握したい。現在の予算とバス交通の費用対効果に対する説明を受けたい。今後広げていくところと縮小するところの検証も行いたい。次に、「道路維持経費」については金額も大きい。地域こん談会等で補修の要望があるが、どこを修繕したのか明確には分からないのが現状である。ここ2～3年でどこを補修したのか一覧表を提出いただき、修繕したところの効果を把握したい。

<並河委員>

「公園緑地整備事業費」については、当初のスタジアム用地を、公園として国に申請してやっている。絵はできているかと思うが、目に見えない形になっているため抽出した。

<藤本委員>

「森林活用推進事業経費」について、霧のテラスを見てきたが、1千万円かかる事業なのか疑問に感じた。業者選定をどのように行い、相見積りをきちんととったのか。工事金額と内容に差があると考えたため抽出した。「緑花推進経費」については、亀岡まるごとガーデンミュージアム構想調査研究委託料に526万円計上している。調査を丸投げしているのではないか。亀岡まるごとガーデンミュージアム構想事業も知らない間に作られている。どういう構想で、次にどこをしようとしているのか。議会に説明があって予算付けされているのか。亀岡産の石を使って公園に設置しているが、工事自体も入札か随意契約なのか、きちんと相見積りを取っているのか不明確である。

<木曾委員>

「観光推進経費」については、委託や補助金の適正化の中で、事業を執行している内容について、市民にどれだけ啓発できたのか、事業効果を検証する必要がある。

「公園緑地管理経費」については、緑花協会や三煌産業に指定管理しているが、それによりどれだけ市民サービスが向上したのか効果を検証する必要がある。かなり時間も経過しており、実績も上がってきていると考えるため抽出した。「公園緑地整備事業費」については、今後事業計画を実施するにあたり、国・府の関係を含めて、方向性が示されていない。環境保全専門家会議がどのような判断をしようとし

ているのか、どのような状況になっているのかが全くわからない。その内容について事業精査する必要があるのではないか。

<明田委員>

「安全・安心の農産物栽培支援事業経費」については、食べるものの安心・安全は基本中の基本である。クルベジに10年くらい取り組んでいる。安心・安全の観点からは意味のあることだと考えているが、この頃、参加される農業者が減ったと聞く。どのように1年間取り組んできて、今度どのようにしていくのか検証したい。「森林環境整備経費」については、豪雨災害により森林で多くの被害が出ているが、被害のほとんどは、山をもう少し大切にしなければならないということである。亀岡市の山も間伐していないため、倒木があちこちに見受けられる。今後、災害を未然に防ぐためにも、これまでの取り組みと今後のことを確認したい。

<西口委員長>

ここから2～3項目に絞り込みをお願いしたい。事務事業評価の対象としては、継続・充実等、今後どう反映していくのかが一番重要である。そこを頭に置きながら抽出願う。項目の中で幅の広い項目もあった。項目全体ではなく、これとこれは必要だという出し方を含めて検討されたい。商工業振興対策経費などは範囲が広いが、絞り込めるのであれば絞り込んではどうか。

<藤本委員>

畜産振興関係経費を抽出した人が3人、農業担い手づくり育成事業経費が2人、公園緑地整備事業費が2人となっているので、この3つをベースにし、それ以外にどうしても入れたいものがあったら入れてはどうか。

<西口委員長>

これだけは何としてでも入れたいという項目はあるか。

<奥村委員>

決算の審査である。例えば公園緑地整備事業費は特別会計から買い取ったという話であり、重要なことなので月例等で聞くべきだとは考えるが、決算では聞く必要はないのではないか。公園については、別の機会に集中して聞くべきではないか。

<西口委員長>

同感である。決算に対する審査なので、決算に対する項目の中で、事務事業評価に値するものを抽出する必要がある。保津川公園については、これまで99%の人が協力していただいている中、家庭の事情があったものについての買戻しであり、事務事業評価に値する部分は少ないのではないか。ここをどうしていくかの話はこれからの課題の話である。

<木曾委員>

買戻しの決算についてはそれでよいが、問題は専門家会議等の経費である。専門家会議が2回、WG会議が5回とあるが、これに関する報告が一向に入っていない。報告もないのであれば、そのような予算は不要なのではないかと考えて抽出したものである。今後の方向性であり、重要だと考えたため抽出した。

<西口委員長>

他に意見はあるか。畜産関係については、もっと拡充できる環境をつくっていき、亀岡牛をもっと広く、常に提供できるよう、拡充してほしいと考える。市に対してそういう方向性を見出していくことについて、畜産振興関係経費を入れてはどうかと思うがどうか。

<明田委員>

どちらかという業者がおられ、市が一生懸命ついていっているような状況である。

もう少し積極的に、市のピカーとして売り込むような形を取ってはどうかと考える。昨年度の取組みと、今後のことを確認したい。

<西口委員長>

それでは、畜産振興関係経費に決定する。(了)

<奥村委員>

先ほど木曾委員が言われたのは、京都・亀岡保津川公園関連事業経費ではないか。

<木曾委員>

当初、事務局には京都・亀岡保津川公園関連事業経費で伝えていた。

<事務局主任>

公園緑地整備事業費と京都・亀岡保津川公園関連事業経費があり、公園緑地整備事業費の予算は用地の買戻しのみとなっている。京都・亀岡保津川公園関連事業経費は政策交通課の所管となり、こちらに環境保全専門家会議の経費や土地取得事業特別会計繰出金がある。ただ、平成30年度の予算を確認すると、今後、京都・亀岡保津川公園をどうするのかという具体的な計画の業務委託等の項目は、公園緑地整備事業費に計上されている。今後、京都・亀岡保津川公園をどうしていくのかという内容であったため、公園緑地整備事業費で整理したものである。

<奥村委員>

今後のことは決算でしなくてもよい。環境保全専門家会議の内容が見えないので、これだけを取上げてよい。公園緑地整備事業費に入ってくる今後の話は、別途取扱ってもよいと考える。

<木曾委員>

環境保全専門家会議の経費に絞ってはどうか。

<事務局主任>

環境保全専門家会議を開いた経費の説明を受けても、経費が異なるため、京都・亀岡保津川公園を今後どうするのかという話につなげるのは難しいかもしれない。

<奥村委員>

環境保全専門家会議が実際に必要だったのかどうかという内容を含めて精査するのであれば、それでよいのではないか。

<並河委員>

私もその項目を抽出したが、奥村委員が先ほど別で聞いてもよいと言われたので、その中で専門家会議の中身も聞いてはどうか。事務事業評価するとなると、少額なので、それでよいのかということもある。他にもあげた方がよいものがあるのではないか。

<西口委員長>

通常のコミテの中を確認していくのでどうか。

<木曾委員>

それでよい。ただ、14億円かけたものをどう生かしていくのかが一番大事である。それが宙ぶらりんになっているので、委員会の月例等で願います。

<西口委員長>

他に意見は。

<藤本委員>

緑花推進経費の亀岡まるごとガーデンミュージアム構想調査研究委託料はどこに委託し、どういう内容の研究が発表されているのか全然知らされていない。それを明確にしたい。500万円かけて研究しただけの内容になっているのか。また、亀岡まるごとガーデンミュージアム構想事業の2千万円について、工事の見積り・入

札方法も不明確であり、それぞれの箇所の議会への計画説明や工事の予算説明、今後の構想も分からない。気が付いたら市長の思いのままにあちらこちらにできていたということになるのではないか。どこに仕事をさせて、いくらかかったのかが明確でないので、説明責任が必要だと考える。

<奥村委員>

そのことについては一般質問も行った。500万円については、京都大学と京都学園大学の先生で、まるごとガーデンミュージアムの構想を作り、資料として冊子もいただいている。その資料が、かかった費用である。もう1つについても企業版のふるさと納税を利用したものであり、企業の意向もある。ただ、どういう経費でどこを工事したのかは知らない。

<木曾委員>

事務事業評価でなく、通常の決算審査で聞いていきたいと考える。そちらでもできる内容である。事務事業評価に値するかどうかは別の問題である。聞いていかねばならない内容は一緒であり、事務事業評価からは外して、違う形で聞く方がよいのではないか。

<藤本委員>

事務事業評価でなくてもよい。

<西口委員長>

他にはどうか。先ほど抽出した1点でよいか。

<藤本委員>

農業担い手づくり育成事業経費はどうか。

<並河委員>

畜産振興関係経費が1つ決まった。2項目か3項目でよいと考えるが、農業関係の他に商工業や観光も出ている。大まかに畜産・農業関係と、観光・商工業あたりの骨になるところを聞いた方がよいのではないか。

<木曾委員>

観光推進経費には全ての部分が入っている。観光も、ふるさと特産品の関係も含め、いろいろなことが絡まっており、骨子になる部分である。一般財源だけでも8800万円以上かかっており、検証する必要がある。どれだけおもてなしを行い、観光をメインにして、入込客も含めてやっているのか。霧のテラスも入っている。

<西口委員長>

範囲が広いので、もう少し絞ってもよいのではないか。

<木曾委員>

委託料と補助金があるが、委託料と補助金の分け方を含め、全体的な見直しを決算の時にしておかねばならないのではないか。項目は多いが、委託費は委託費、補助金は補助金で一覧表を出してもらって整理し、個々の部分ではなく、本当に1億2千万円の事業効果があったのかを検証し、効果があったのであれば、それを充実させることも大事である。

<奥村委員>

平成29年に全部やって「継続」になっている。亀岡の観光の経費は少ない。日光市は観光に20億円使っており、観光費の中でいろいろなまちづくりをしている。亀岡はそういうことはしておらず、観光PRや祭り等の補助金・委託料のみである。これをもう1回見直すのも1つの手である。項目は多いが、1つ1つではなく全体的に、観光PRをもっと進めるのかということ、1つの施策としてやってもよい。

<藤本委員>

委託料と補助経費に大別される。次の予算に反映できるよう、事業の効果を明確にしていくべきではないか。

<奥村委員>

平成29年度は森のステーション関係やライブ配信等、特別なものが入っているのでかなり増えている。それまでは概ね7～8千万円であった。大河ドラマの経費は別にあるが、光秀の「麒麟がくる」の関係もあり、観光を今後どうしていくのか、全体的に見つめるのはよいことである。

<木曾委員>

これだけお金をかけており、事業効果はあったと思うが、この中でも、さらに充実すべきものと、本当に必要だったのかを検証して見直す必要があるものもある。例えば、森の京都DMOや森のステーションの関係については、今後同じような形でお金をかけていってよいのか。それより霧のテラスや城下町まち歩き、外国人の関係にお金をかけていく方がよいのか等についても検証できるのではないか。

<西口委員長>

観光推進経費を入れるべきだという意見であるが、どのようにまとめるか。事務局の意見は。

<事務局主任>

絞り込んだ形での評価もできるが、全体的に評価したいとの意向であり、全体の部分で調整させていただく。

<西口委員長>

観光推進経費については、全体的なまとめの中で対象とすることでよいか。(了)

<西口委員長>

農業担い手づくり育成事業経費についてはどうか。

<明田委員>

決定した2項目でよいのではないか。

<木曾委員>

2項目でよい。他は通常の決算で審査できる。

<西口委員長>

では、以上の2項目で決定することでよいか。(了)

<西口委員長>

現地視察の希望はあるか。

<並河委員>

霧のテラスはどうか。

<木曾委員>

予算特別委員会で行ったのではなかったか。

<事務局主任>

平成29年3月21日の予算特別委員会で行かれている。

<奥村委員>

デマンド交通の関係で、東別院町のバスはどうか。

<西口委員長>

常任委員会で取扱ってはどうか。

<藤本委員>

畜産の生産現場に行って、生産者の声や市への要望を聞いてはどうか。

<木曾委員>

相手が困るのではないか。それなら食肉センターのほうがよいのではないか。

<明田委員>

常任委員会で対応する方がよいのではないか。

<木曾委員>

現地視察はなしでよいのではないか。

<西口委員長>

現地視察はなしでよいか。(了)

### 3 その他

<西口委員長>

次回の委員会は、限られた時間の中で論点に沿った質疑を行い、円滑かつ適切に評価できるよう、対象項目の論点整理を行う。日程について事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の論点整理は、実際に使用する調書で行うのが望ましいため、当日の資料の提出を待ってから論点整理を行ってはどうか。日程案としては、9月議会の常任委員会審査日の議案審査後でどうか。開催日程を決定願いたい。

<西口委員長>

次回開催は9月18日の常任委員会審査日でよいか。(了)

～散会 14:38